

## 「道内の感染状況等について（道案）」に対する主な意見

## 1 有識者・専門家等の意見

## 1-①

札幌の感染を少なくすることが道内の感染者数の減少につながると考える。

特に、札幌市内の感染状況については、今後の経済対策により、大きく変化することも考えられる。感染の次の波を小さくするためにも、ワクチン接種の拡大と医療提供体制の確保をお願いする。少なくとも、7月中には、札幌市内の老人施設のワクチン接種がほぼ完了すると思われるので、それまでは、市民にもう少し我慢をお願いしたい。

## 1-②

道案について、異論なし。

30代以下を中心とする若年世代に感染者の割合が高いこと、リンクなしが増加傾向にあることを踏まえ、感染防止意識と行動の徹底ならびに同世代のワクチン接種を急ぐ必要があるものの、国の供給スケジュールが不透明となり道民の不安・不信が高まっている。

ワクチンの接種については、国と協力し、接種が早く終わることができるよう進めていただきたい。

## 1-③

道の感染状況を正確に分析されていると思う。

新規感染者数は下げ止まっており、感染経路不明の割合も増えているので、今後の感染拡大が心配。

引き続き、注意深く見守る必要がある。